

認証評価機関による認証評価結果について

国立大学法人福岡教育大学

このたび、独立行政法人大学評価・学位授与機構（以下「機構」）が実施する、平成 27 年度実施の大学機関別認証評価において、本学の平成 27 年度時点での取組は、「大学設置基準をはじめ関係法令に適合し、機構が定める大学評価基準を満たしている。」との評価を受けました。

大学は、教育研究等の総合的な状況について、文部科学大臣の認証を受けた「認証評価機関」（例えば独立行政法人大学評価・学位授与機構）による認証評価を 7 年ごとに受けることを義務づけられており（学校教育法第 109 条第 2 項）、今般の認証評価は、それ沿ったものです。

【優れていると評価された項目】

- 毎年度、大学教員活動評価を実施し、サバティカル研究者の派遣及び若手教員等の研究活動の支援に反映している。
- 課程の選修、専攻、コースごとに教育の到達目標を基礎と総合の 2 つの段階で構成した「福岡教育大学スタンダード」を定め、各授業科目と関連付けている。
- 「成績評価に関するガイドライン」やガイドライン「チェックシート」を策定して、成績評価の客観性、厳格性の確保に組織的に取り組んでいる。
- 修士課程の 14 のコースごとに作成されている「修士論文研究に関する指導指針」は、修士論文研究の課題とタイムテーブルを分かりやすく示しており、コースでの学習の到達目標を定めることで教育の質の保証に貢献している。
- 平成 24 年度から学業成績優秀者奨学金と国際交流協定校派遣支援奨学金からなる「福岡教育大学未来奨学金」を創設し、毎年度、学生に対して奨学金の給付を行っている。
- 教育委員会の幹部職員や公立の連携協力校の校長等で構成する「教員養成の質向上に関する諮問会議」を大学の常設機関として設置し、同会議の答申を基に、教員養成の質向上に取り組んでいる。
- FD 活動の一環として、毎年度「教育内容・方法に関する検討会」を開催し、その結果を『FD 活動報告書』及び教職員グループウェアに掲載し、全教職員で共有している。また、講座・センター内授業研修を実施している。

【更なる向上が期待されるとされた項目】

- ◎ 学生の英語能力の向上を目指して、平成 27 年 4 月に英語習得院を開設しており、今後の成果が期待される。
- ◎ 撮影スタジオ A V システム、音声収録編集システム、コンテンツ編集システムを備えた教材作成スタジオについて、今後の活用が期待される。

【改善を要するとされた項目】

該当なし。

本学は、九州における教員養成の拠点大学として、学校現場が求める実践力を備えた質の高い教員の養成に向けて、引き続き改革を進め、地域の期待に一層応えて参ります。